

家庭で身につけてほしいこと

子育ての目安「3つのめばえ」は、幼稚園・保育所・認定こども園と家庭が共に子育てに取り組んでいくことを目指し、家庭における生活場면을例示しています。ここでは、保護者との連携に活用していただけるよう、家庭向けパンフレットの一部を紹介します。

幼児の生活は、家庭を基盤として、地域社会や幼稚園・保育所・認定こども園へと連続的に営まれています。幼児の生活全体がより充実したものとなるように、家庭と十分な連携をとり、共通理解を深めて、健やかな子どもの育ちを支えていきましょう。



生活

規則正しい生活リズムを身につけましょう

- ・「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣を身につける
- ・登園などの時刻を意識し、行動する

戸外で遊びましょう

- ・進んで戸外に出て遊ぶ
- ・安全に気をつけて行動する
- ・交通ルールを知り、守る

自分のことは自分でしましょう

- ・着替えや衣服の始末をする
- ・かばんや帽子などを決まった場所にしまう
- ・脱いだ靴をそろえる

物を大切にしましょう

- ・遊んだ後の片づけをする
- ・食べ物や紙などを大切に使う

自主性がめばえます



他者との関係

家族とのあたたかいつながりをつくりましょう

- ・園での出来事や思ったこと、考えたことを家族に話す
- ・家の手伝いをする
- ・兄弟姉妹や友達と遊具などの貸し借りをし一緒に遊ぶ
- ・小さい子どもやお年寄りに思いやりをもって接する

返事やあいさつをしましょう

- ・元気よく「はい」と返事をする
- ・「おはよう」「いただきます」「ごちそうさま」「ありがとう」「ごめんなさい」が自然に言える

きまりや約束を守りましょう

- ・よいこと、悪いことがわかり、考えながら行動する

社会性がめばえます



興味・関心

いろいろなものへの興味・関心を高めましょう

- ・身近な自然などに触れ、美しさや不思議さなどを感じる
- ・興味・関心をもったことにじっくりと取り組む
- ・いろいろなことに疑問をもち、尋ねる

生活の中で、文字や数などに触れましょう

- ・家の人に絵本や物語を読んでもらう
- ・数を数えたり、集めたり、分けたりする
- ・園の名前や自分の年齢などが言える

夢をもちましょう

- ・やってみたいことやなりたい人などのあこがれをもつ

学びへの意欲がめばえます



子育ての目安「3つのめばえ」

小学校入学を前に、家庭における子育てを振り返るために、保護者会などで話し合う際の参考資料として御活用ください。

家庭の生活環境を振り返りましょう

例 寝る時刻や起きる時刻を決めていますか

毎日、同じ時刻に寝たり、起きたりすることで、生活のリズムが整います。規則正しく生活することが、幼稚園・保育所・認定こども園、小学校で元気に過ごす活力になります。早寝早起きを習慣づけましょう。

子どもに育つこと 正しい生活リズムを身につけることにより、体が丈夫になり、元気に活動できます

親のかかわりを振り返りましょう

例 子どもの目を見て話をきいていますか

うれしい、楽しい、悲しいなどの思いを家族と共有できるように、子どもの気持ちに寄り添うことが大切です。子どもの目を見て話をきき、子どもの話に相づちをうちましょう。

子どもに育つこと 自分が家族にとって大切な存在であることを実感して自信をもち、楽しく通園することができます

子どもの遊びや体験を振り返りましょう

例 子どもの「なぜ？」を一緒に考えていますか

子どもたちは遊ぶ中で、「ふしぎだな」「おもしろいな」と興味・関心をもち、いろいろなことに気づいたり、考えたり、試したりしています。その中で、「できた」「わかった」という体験を重ね、学ぶことのおもしろさを知っていきます。興味をもったときが、学びのタイミング。子どもの疑問を一緒に考え、応えましょう。

子どもに育つこと 「できた」「わかった」という体験を重ね、学ぶことの楽しさを知ります

子どもの育ちを確かめましょう

幼児期に育てたいことは？

幼児期には、幼児は、家庭において親しい人間関係を軸にして営まれていた生活からより広い世界に目を向け始め、生活の場、他者との関係、興味・関心などが急激に広がり、依存から自立に向かうと言われています。

子育ての目安「3つのめばえ」は、「生活」「他者との関係」「興味・関心」の3つの広がり注目し、この視点から、小学校入学までに子どもたちに身につけてほしいことをまとめています。

これらの内容は生涯にわたる人格形成の基礎となるものであり、幼児期に身につけることにより、小学校生活の充実はもとより、「生きる力」の基礎をはぐくむこととなります。



がめばえます =



「生きる力」の基礎になります